

がんばれ！
がんばれ！

お兄ちゃんたちは速いなあ

あす 2007
平成19年

大間中体育祭

運動会・体育祭の様子を紹介

大間小運動会



▲ソーランの伝統は脈々と



▲投げて、拾って、また投げて



▲あっ！うまくひっくり返りそう



▲あとちょっとでゴールなのに



▲ずぶ濡れの中、黄組が優勝



▲友だちにバトンを届けるぞ



▲小学校の後輩たちに、中学生の凄さを見せる



◀小・中、息を合わせての行進



◀皆さん、よくがんばりました

● まちの出来事 ●

思い出の校舎にお別れ

今年4月から、新校舎での授業を始めた大間小学校ですが、その新校舎前に残っていた旧校舎が、いよいよ解体されることとなりました。

そこで、「最後の思い出作りをしようよ！」と、昨年から大間小の様々な思い出発掘に取り組んできた「我が愛しのオンボロ校舎の思い出を残す会」による『最後の思い出記録会』が5月19日（土）大間小旧校舎で行われました。



▶ 普段は書けない壁に（その1）

当日は雨が降ったりやんだりの、あいにくの空模様でしたが、大間小児童から、この校舎で学び卒業した中学生や高校生、そして大人まで70名ほどが集まり、思い出深い教室で友達と写真を撮ったり、走ると怒られた廊下を全力疾走してタイムや名前を壁に書き込んだりと、昔、出来なかつたことを存分に楽しみなながら、自分たちが巣立った学び舎との最後の思い出を心に刻んでいました。



▲ 思い出と一緒に全力疾走



▶ 普通は書けない壁に（その2）

内山公園で桜まつり開催

5月20日（日）、快晴となった内山公園において桜まつりが開催されました。

野外ステージでは、大正山祭りばやし子ども保存会による祭りばやしの披露や、桜まつり名物となったストローでのビールの早飲み競争、熱々ラーメンの早食い競争が行われ、「がんばれ！」と声援が送られていました。

また、A TV杯争奪カラオケ大会では、歌に自信の15名の方が参加し、それぞれ個性あふれる歌で会場は



▶ 熱い、熱すぎる!!



◀ 天気に恵まれ、賑わった内山公園

大いに盛り上がりました。最後は歌手の渡辺亮子さんによる歌謡ショーも行われ、迫力あるプロの歌声を披露してくださいました。桜まつりに訪れた皆さんは、大間牛の焼肉を味わいながら、好天に恵まれた内山公園で、のんびりと桜まつりを楽しんでいました。



桜の苗木を 植樹

大間町緑化推進委員会が、5月30日(水)下北森林管理署大間森林事務所の協力のもと、昨年引き続き大間バイパスに大山桜の苗木を植えました。

また、6月5日(火)には、材木地区の皆さんのご協力により、津鼻崎公園に大山桜の苗木が植えられました。



▶大間バイパス



▶こちらは津鼻崎公園

新消防団長に 新田節男氏

5月31日付け中島隆団長の退任に伴い、6月1日(金)副団長の新田節男氏が、金澤町長から新消防団長に任命されました。

万が一の災害の際には、160名の団員を率いて、町民の貴重な財産・生命を災害から守ります。

また、副団長には、新たに本団分団長の傳法秀之氏が昇任いたしました。



▶町長から任命書を受け取る新田新団長

うみの子保育園で 「大間うみの子幼年消防クラブ結成式」

5月24日(木)大間町立うみの子保育園において「大間うみの子幼年消防クラブ」結成式が執り行われました。

元氣良く「おはようございます」と挨拶した園児たちは、「今日は、先生や消防の方に、『火遊びはしない・危ないことはしない・お父さんお母さんの言うことを聞きます。』など悪い事をしないという約束する日です。」という竹内園長の挨拶にも「ハイ!」と返事をしていました。

認定証を下北広域幼年少年婦人防火委員会藤井幸男



▶大きい声で「火の用心」のうた

会長より交付された園児たちは、「僕たち私たちはマツチやライターで絶対に火遊びをしません」と大きな声で誓いのことばを述べていました。



▲認定証をもらいました



▶やったね!今日から「大間うみの子幼年消防クラブ」



▶消防クラブのまともももらいました

＋ 病院だより No.113 今月の担当医 内科医長 丸山 博行

地域医療教室

急に暑くなり、それでも朝晩は肌寒い日が続き、体調を崩されている方も多いと思います。この暑い最中の6月19日（火）午後6時30分より、第1回地域医療教室が北通り地域医療研究会（住民の有志で作った勉強会）主催で大間町公民館2階和室にて開催されました。私は、講師として参加させていただき、“上手な病院のかかり方”をテーマにお話させていただきました。お話の内容は、平成18年8月と平成19年1月の町報に載せたことをまとめたものでした。具体的には、“成人1000人の受療動向”、“患者さんは3の法則に従い病院を受診する”、“プライマリ・ケアと大間病院”、“コンビニエンスストア的病院だが?”、“慢性の盲腸?!”、“住民への健康や病気に関する啓発活動”、“他の医療機関に通院している場合は?”、“発熱について”などについてお話させていただきました。27名の方に参加していただき、最初は私が一方的にお話をするかたちとなりましたが、病気に関する具体的な話になると沢山意見が出ました。健康や病気について関心を持っている人は結構いると確信しました。

第1回地域医療教室は大間町で行われましたが、第2回は風間浦村で第3回は佐井村で開催される予定です。このような医療従事者と気軽に病気や健康について話し合える会が続いて欲しいと思います。そこでみなさんにはお願いですが、病気や健康について聞いてみたいことがあれば、北通り地域医療研究会（37-5113）までご連絡ください。みなさんの関心のあるテーマについてお話できる機会が持てるかもしれません。

最後に、健康や病気について関心を持ち、安心して暮らせる大間町にしましょう。

話は全く変わりますが、大間病院では火曜日と木曜日の午後に予約外来を行っております。現状は、数名の患者さんにしかご利用していただけておりません。平日の午後8時30分～午前11時30分まで電話（37-2105）で予約を受け付けております。是非、ご活用ください。

保健だより 128号

虫歯ゼロの子（第1弾）

住民福祉課

担当：伊藤保健師

今回は、5月21日に行われた【3歳児健診】で虫歯がゼロ本だった子を紹介します！



竹内 星ちゃん



伊藤 美咲ちゃん



松本 柊くん



岩泉 大地くん



小鷹 未優ちゃん



次回は「虫歯ゼロの子(第2弾)」お知らせします★

大間町内の子ども体験教室と実施予定内容

場 所	大 間 地 区		奥 戸 地 区
	大間町立公民館(土曜日) 午前9時～12時 俳句は午後1時～4時	町民体育館(木曜日) 午後3時～5時	農業研修センター(土曜日) 午前9時～12時 俳句・紙細工は午後1時～4時
実施内容 期 日 【担当】	旗振り体験 7月7日【あおぞら組】 ボランティア体験 7月14日【婦人会】 紙細工 7月21日【宮木邦青】 昔の遊びほか 7月28日【老人クラブ】	スポーツ、サッカー (フットサル、ドッジボール) 7月5日、12日、19日、 26日 【体育協会、体育指導員】	俳句 7月7日【潮光俳句会】 紙細工 7月14日【宮木邦青】 ボランティア体験 7月21日【婦人会】 読み聞かせ体験 7月28日 【大間読書サークル】
	旗振り体験 8月4日【あおぞら組】 ボランティア体験 8月18日【婦人会】 読み聞かせ体験 8月25日 【大間読書サークル】	スポーツ、サッカー (フットサル、ドッジボール) 8月2日、16日、23日、 30日 【体育協会、体育指導員】	読み聞かせ体験 8月4日、11日 【大間読書サークル】 ボランティア体験 8月25日 【婦人会】
	昔の遊びほか 9月1日、15日、29日 【大間地区老人クラブ】 読み聞かせ体験 9月8日 【大間読書サークル】 ボランティア体験 9月22日【婦人会】	スポーツ、サッカー (フットサル、ドッジボール) 9月6日、13日、20日、 27日 【体育協会、体育指導員】	紙細工 9月1日【宮木邦青】 俳句 9月8日、22日 【潮光俳句会】 読み聞かせ体験 9月15日 【大間読書サークル】 ボランティア体験 9月29日【婦人会】
	ボランティア体験 10月6日【婦人会】 紙細工 10月13日【宮木邦青】 読み聞かせ体験 10月20日 【大間読書サークル】	スポーツ、サッカー (フットサル、ドッジボール) 10月4日、11日、18日、 25日 【体育協会、体育指導員】	紙細工 10月6日【宮木邦青】 読み聞かせ体験 10月13日 【大間読書サークル】 ボランティア体験 10月27日【婦人会】

大間町子ども体験教室

参加者募集

主催：大間町放課後子ども教室推進実行委員会
共催：大間町子ども会育成連絡協議会
大間町教育委員会

『子ども体験教室』とは

放課後や週末などの一定

時間に、学校や地域の施設

を活動拠点として、地域の

大人が安全管理員になり、

子供たちがスポーツや文化

活動などの様々な体験活動

をすることができるところで

す。お気軽に参加ください。

安全管理員も

募集しています。

大間町子ども体験教室で

は、安全管理員(指導者)

を募集しています。子ども

お問い合わせ先：教育委員会社会教育課

電話

37-2103



と接するのが好きな人、自分の特技や技術で子どもたちと一緒に楽しんでもみませんか？興味のある方は教育委員会社会教育課までご連絡ください。

『生きる力』を考える

大間町学力向上研究会

奥戸中 教頭 中村 聡

先日の春季遠足でのことです。昨年は実施しなかった炊事を行うことになり生徒と一緒に調理をしました。

その時の包丁の使い方や調理の仕方を見て、とても驚きました。

「家で包丁を使ったことがあるの？」とか「料理を手伝っている？」とかを聞いたら、ニコニコしながら『ないよ』と言われました。中学生なのでそんなに自信を持って言えることではないのですが、その後の調理や後始末を見て、『この子達は一人暮らしになったらどんな生活をするのだろう』とか、『いや一人暮らしはできないだろうな』と考えるようになりました。

そして自分について振り返ってみて、自分の子どもはどうだろうか、もし一人になったら暮らしていけるだろうか、と考えちよっとどきどきしました。

『生きる力』とはこのようなことなのかと考えさせ

られたような気がします。

自分の子どもも含めて『生きる力』をつけてあげるためにはどんなことができるのだろうか？と真剣に考えさせられました。そんなこと『大人になれば何とかなるだろう』と私を含めて簡単に考えている人が多いような気がしていますが、果たして本当に大丈夫でしょうか。

私(私達)が子どもの頃はもっと遊びの中からいろいろなことを学んだような気がします。そして家の手伝いからたくさんのお金を学びました。

現代はそんな『学びの場』が少なくなってきたのでしようか。いや、もしかしたら私達が子ども達から『学びの場』を取り上げてしまったのではないのでしょうか。

基礎学力も大切ですが、学校でも家でもできる生きる力を育むためのいろいろな知識や自然体験・社会体験が重要だと思えます。

私も子どもと一緒に何かをやってみなければと考えられています。それは、子どもが小学生や中学生の今しかできないことなのでから。

大間高校四本の柱

大間高等学校

今年度の大間高校は、次の四本の柱（学校経営方針）のもと、生徒が「入学してよかった」、保護者が「行かせてよかった」、地域が「あつてよかった」、職員が「勤めてよかった」、学校づくりに取り組んでいます。

- 一 全教育活動を通じた進路指導を推進し、希望する出口を保障する学校
- 二 確かな学力と規範意識を身に付けさせ、楽しい学校生活を実現する学校
- 三 士気を高めるため、部活動の振興を図り、文武両道を実現する学校
- 四 保護者や地域と連携を深め信頼と期待に応える学校

特に、確かな学力と規範意識を身につけさせ、出口を保障することにより、生徒・保護者・地域に信頼される学校を目指して、日々教育活動に取り組んでいます。

部活動頑張っています

剣道部男子団体の県春季大会、県高校総体ベスト8、個人（三年柏谷翼君）の県春季大会、県高校総体の三位（東北大会出場）をはじめ、ラグビー部も県春季大会、県高校総体においてベスト8（Aブロック残留）に入りました。



「高校総体剣道」

その他、陸上部員の高校総体での自己新記録の更新、テニス部の三回戦進出など持てる力を十分に発揮してきました。

さらに、野球部は数回に亘る遠征により力をつけてきており、夏の甲子園予選での勝利を目指しています。

す。



「高校総体ラグビー」

さらなる進路指導の推進

大間高校の昨年度の進路志望達成状況は100%でした。

今年度も「全教育活動を通じた進路指導の推進」により、生徒の進路志望達成に向けて、さまざまな取り組みを行っています。

授業の充実を目標に、授業公開を通じた授業研究、進路指導充実のための教員研修、学力向上に向けた進学合宿・課外講習や添削指導、各種模擬試験の実施、小論文指導、各種講演会・見学会、職業観育成のため

のインターシンプなどです。

また、保護者の進路意識啓蒙のために、上級学校見学会や進路講演会を実施しています。

受け入れ先開拓のために、教員による企業訪問・上級学校訪問も実施し、側面からの協力も行っています。

盛況であったPTA総会

県高P連下北むつ大会

本校の教育活動に対する保護者の関心が高く、子供たちの成長に大きな力となつています。

四月と五月に行われた、佐井地区、風間浦地区、大間地区のPTAには合計約百名、PTA総会には、六〇名の参加がありました。

地区PTA、PTA総会においては、担任団と保護者との懇談で盛り上がり、なかなか終了できないほどの盛況振りでした。

また、六月八日（金）に、むつ市の下北文化会館で行われた、県高P連下北むつ大会において、大間高校からは、アトラクションとし

ての「海鳴り太鼓」、北通り地区PTAからは、「物産販売」ということで名産品の販売を行いました。この日、あおぞら組組長である島康子さんが「わらさんどよ！世界に泳ぎだせーい！」というテーマで講演したこともあり、予想以上の売り上げとなりました。

フラワデー

六月七日（木）にベゴニアの苗を植える「フラワデー」を実施しました。生徒は、それぞれ一つのプランターを担当し、環境美化についてと働くことの喜びを同時に味わいました。

また、向かいの老人ホームにもフラワポットを寄贈しました。



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	30				

7月

（ふみづき文月）

暮らしのインフォメーション

皆さんの、日々の暮らしに役立つ情報がいっぱいです。
楽しい生活を送るために、ぜひ、ご活用ください。

健康ですか…＊
保健衛生事業（7月分）

事業内容	期日	場所	時間帯
健診結果説明会 (奥戸)	7月3日	奥戸農業研修センター	受付：午前9時30分～午後3時30分
三種混合 (予防接種)	7月10日	大間病院	対象者：平成12年1月1日生まれ ～平成19年4月10日生まれ 受付：午後1時30分～1時50分
乳児健康相談	7月20日	総合開発センター	対象者：平成18年11月生まれ ～12月生まれ 平成19年2月生まれ ～3月生まれ 受付：午後1時15分～1時30分
ポリオ(予防接種)	7月26日	大間病院	対象者：平成12年1月1日生まれ ～平成19年4月26日生まれ 受付：午後1時30分～1時50分
乳児健診 1歳半健診	8月6日	総合開発センター	対象者：平成19年1月生まれ ～2月生まれ 平成18年1月生まれ ～2月生まれ
2歳児歯科検診	〃	〃	対象者：平成17年1月生まれ ～2月生まれ

※お問い合わせ・詳細については、役場住民福祉課まで（内線41番）

一緒に大間の町を元気にしませんか？

**7月の「浜のチャレンジ市」は7月21日(土)・22日(日)
午前10時～午後3時 大間漁協直売所で開催します。**

「来て、食べて、買ってもらおう仕組みづくり委員会」では、一緒に大間の様々な特産品、おみやげ品を販売し、町の活性化のために、知恵と力を貸してくれる仲間を募集しています。5月のゴールデンウィークには、「浜のチャレンジ市」を開催し、今後も継続していこうと頑張っています。

お申し込み、お問い合わせは、
事務局：役場産業振興課 村川
(TEL37-2111 内線58まで)

※販売できるものは、地元で生産
され、加工された商品に限ります。

来て、食べて、買ってもらおう仕組みづくり委員会とは…

その名のとおり「多くの方に大間を訪れてもらい、様々な特産品、おみやげ品を購入してもらうにはどうすればよいか？」知恵を出し合い、力を合わせるべく商工業者、各種団体により結成された委員会です。

頑張る地方応援プログラム

「頑張る地方応援プログラム」とは、やる気のある自治体が自由に独自の施策を展開することにより、「魅力のある地方」に生まれ変わるよう、自治体独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方自治体に対し、地方交付税等の支援措置が講じられる制度です。

大間町では、次の3つのプロジェクト（期間：平成19年度～21年度）に取り組んでいきます。

①北限のニホンザルと共存プロジェクト（総事業費7,800千円）

耕作地や住宅地へ出没するようになった天然記念物の北限のニホンザルとの共存を図るため、下北半島の関係市町村と連携して広域的な取り組みを実施します。

②「大間牛」ブランド化プロジェクト（総事業費30,564千円）

近年、肥育技術の向上も目覚しく、各枝肉共進会等でも最上位の格付けを受けるなどしている「大間牛」の銘柄確立の定着と子牛市場での価格向上に努めます。

③エネルギーのまち「安心・安全」プロジェクト（総事業費17,691千円）

地域防災の最も重要な役割を担っている消防団活動について広く町民に理解してもらおうとともに、安心して安全に暮らせる町づくりを目指すため、若年層の地域活動への参加を促し、新団員の確保、活力ある消防団を目指します。

※大間町ホームページ（<http://www.net.pref.aomori.jp/ooma/>）でもご覧いただけます。

観光ビジネスワークショップ開催のお知らせ

県は、2010年の新幹線新青森駅開業に向けて、観光地の活性化や観光産業の発展を目指し様々な施策を展開することとしており、その一環として、観光ビジネスの創業・起業を応援しています。

ついては、下記4箇所で「観光ビジネスワークショップ」を開催します。参加をお待ちしております。

○観光ビジネスワークショップ開催日程

開催日	開催地域	開催場所（宿泊場所）	申込期限	コーディネーター
7/14～15	十和田湖	「十和田観光ホテル」十和田市大字奥瀬十和田16 (TEL0176-75-2111)	7/6(金)	佐々木俊介氏
9/1～2	下風呂温泉	「下風呂観光ホテル三浦屋」下北郡風間浦村下風呂70 (TEL0175-36-2311)	8/24(金)	三上 亨氏
9/29～30	浅虫温泉	「椿館」青森市浅虫字内野14 (TEL0120-52-3341)	9/21(金)	佐々木俊介氏
10/6～7	落合温泉 (黒石温泉郷)	「ホテルちとせ屋」黒石市大字袋字富山46 (TEL0172-54-8211)	9/28(金)	三上 亨氏

※いずれも、土日開催です。申込は、電話・FAX・E-mailで受け付けます。

(申込・お問い合わせ先) 青森県商工労働部 経営支援課

ベンチャー・コミュニティ支援グループ 高橋

TEL: 017 (734) 9374 FAX: 017 (734) 8107 E-mail: keiei@pref.aomori.lg.jp

一部事務組合下北医療センター指名競争入札参加者 資格審査追加申請（7月1日～8月31日受付）

一部事務組合下北医療センターでは、平成19年度の指名競争入札参加者資格審査の追加申請を受け付けます。

下北医療センター（東通地区診療所を除く）を構成する各病院・診療所が行う物品購買・建設工事などの指名競争入札に参加を希望する方は、申請してください。

申請書類は、申請手続きの要項に基づき、それぞれの業種に応じて必要な書類を取りそろえて提出してください。申請続きの要項・申請書類は、むつ総合病院のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。なお、印刷したものを希望の方は、実費として1部100円にて各病院・診療所においてお渡しいたします。

※1 今回は定期審査の中間年にあたりますので、既に平成18年・19年度の申請を受理された業者の方は申請する必要はありません。

※2 審査の結果、資格を得た場合の有効期間は、申請された月の翌月から平成20年3月31日までとなります。

ホームページURL <http://www.hospital-mutsu.or.jp/>

お問い合わせ先 〒035-8601 むつ市小川町一丁目2番8号 むつ総合病院 総務課 契約審査係
TEL22-2111（内線3214） FAX22-4439

一部事務組合下北医療センター むつ総合病院職員募集

むつ総合病院では、来年度採用予定の職員を次のとおり募集します。

採用職種	採用予定人員	第一次試験	第二次試験	受験資格
臨床工学技師	5名	教養試験 適性検査 小論文試験 面接試験	/	免許がある方または平成20年4月30日までに免許を取得する見込みの方 ※免許を有する方は、年度途中での採用もあります。
助産師 看護師	26名	教養試験 適性検査 小論文試験 面接試験	/	免許がある方または平成20年3月31日までに免許を取得する見込みの方 ※場合によっては、選考採用もあります。

〈試験日時・場所〉

8月5日（日）午前9時・公済会館3階大ホール（むつ市小川町1-1-5）

〈申込受付期間〉

6月27日（水）～7月20日（金）・午前8時30分～午後5時

※①土・日曜日を除く ※②郵送の場合は7月21日（土）の消印有効

〈申込書類の請求〉

申込書類は、総務課人事係で交付します。郵便で請求する場合は、封筒の表に『受験申込書類請求』と『受験職種』を朱書きし、返信用封筒（角2封筒に120円切手を貼って、あて名を明記）を同封してください。

〈詳しくは〉 〒035-8601 むつ市小川町一丁目2番8号 むつ総合病院総務課人事係
TEL22-2111 内線3221、3873 ホームページ<http://www.hospital-mutsu.or.jp/>

インターネット公売について

県では、差押財産のインターネットオークションを利用して公売しています。

7月も、インターネットオークションが開催されています。

〈公売公告〉

平成19年7月5日(木)

〈公売参加申込期間〉

平成19年7月12日(木) 13:00から

平成19年7月26日(木) 17:00まで

〈入札期間〉

平成19年7月31日(火) 13:00から

平成19年8月2日(木) 12:00まで

詳しくは、「県税・市町村税インフォメーション」(<http://www.pref.aomori.lg.jp/zeimu>)をご覧ください。

お問い合わせ先

下北地域県民局県税部納税課

TEL22-8581 内線210



海洋地球研究船「みらい」・研究施設 一般公開～「みらい」就航10周年

独立行政法人海洋研究開発機構むつ研究所では、次のとおり海洋地球研究船「みらい」・施設の一般公開を行います。(入場無料、来場者には記念品進呈)

〈いつ〉

平成19年7月22日(日) 午前10時～午後4時

(受付は午後3時30分まで)

〈どこで〉

青森県むつ市大字関根字北関根690番地

独立行政法人海洋研究開発機構 むつ研究所

〈どんな〉

①海洋地球研究船「みらい」10年の航跡(パネル展)

②海洋地球研究船「みらい」、研究および施設の公開

③実験教室「二酸化炭素のふしぎ」の開催

④「みらい」船員によるロープワーク講習

⑤スタンプラリー

〈詳しくは〉

独立行政法人海洋研究開発機構 むつ研究所

TEL45-1218

年金についてのお知らせ

全額免除・若年者納付猶予の継続申請ができます

免除や納付猶予を受けるには、毎年申請することが必要です。しかし全額免除または若年者納付猶予が承認された方は、翌年度以降も引き続き同じ申請を行うという意思表示があれば、毎年度の申請書の提出を省略できます(※失業や被災を理由に承認された場合は除く)。ただし、毎年、社会保険事務所が免除基準に該当するか要件審査を行い、審査結果を通知いたします。審査の結果、承認されなかった方で半額免除等の承認を受ける場合には改めて申請が必要です。

詳しくは、役場住民福祉課国民年金担当またはお近くの社会保険事務所までお問い合わせください。

離婚時の厚生年金の分割制度が始まりました

離婚した場合に、婚姻期間中の厚生年金の保険料納付記録を夫婦間で分割することができるようになりました。

対象となるのは、平成19年4月1日以降に成立した離婚ですが、平成19年3月31日以前の婚姻期間の保険料納付記録も分割の対象となります。

分割割合は夫婦間で協議により、分割割合について合意のうえ、原則として離婚後2年以内に社会保険事務所に分割を請求します。合意がまとまらない場合は、離婚当事者の一方の求めにより、裁判所が分割割合を定めることができます。

分割割合については、夫婦双方の婚姻期間中の保険料納付記録の合計の2分の1が上限です。なお、社会保険事務所において、年金分割のために必要な割合等に関する情報提供を行っています。

詳しくは、お近くの社会保険事務所(むつ事務所TEL22-2278)にお問い合わせください。

7月は、第57回“社会を明るくする運動”強調月間です

重点目標 「犯罪・非行の防止と更正の援助のため、地域住民の理解と参加を求める」

統一標語 「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動であり、犯罪や非行が生まれるのは地域社会であり、また罪を犯した人や非行をした少年の更生を促す場も地域社会にはほかならない。そして、その更正を実効あるものとするためには、本人の意欲と併せ、本人を取り巻く地域社会の理解と協力が不可欠なことから、全国的に展開する運動です。

(役場住民福祉課)

建築士の日記念大会inむつ『北の大地を拓く 建築士をめざして!』

(社)青森県建築士会では、地域の皆様に建築士会及び建築士に対する御理解を深めていただくため、毎年7月に建築士の日を定め、各種記念行事を開催しており、今年はむつ市において次のように開催いたします。

(い つ) 7月7日(土)

(どこで) ・むつグランドホテル 16時30分～18時

記念講演「design/build-電通本社ビルのプロセスを通して」

大林組設計本部設計部インタースペース部部长 川瀬 俊二氏

・むつ市文化会館 8時30分～14時30分 まちづくりシンポジウム

・マエダ本店 10時30分～14時

4階会議室に於いて、耐震についてのシンポジウムと建物の公開簡易耐震診断。また、駐車場に於いて、起震車での公開地震体験とモデルフレームを使った建物の揺れ方の公開実験。

※詳しくは、青森県建築士会下北支部事務局(西堀建築設計事務所内) 電話 22-2483

融 資 の ご 案 内

大間町では、青森県信用保証協会と、中小企業者の事業資金にかかる借入を円滑にするため、特別保証制度と売掛債権担保融資保証制度を実施しています。地元中小企業者のご利用しやすい制度として、きめ細やかな対応をしていくことになっていますので、大いにご利用ください。

特別保証制度

項 目	㊦ 簡易小口資金	㊧ 事業活性化資金
保証金額	1,000万円	2,000万円
期 間	運転 7年以内(据置6ヶ月以内) 設備 7年以内(据置1年以内)	運転 10年以内(据置6ヶ月以内) 設備 10年以内(据置1年以内)
貸付利率	3.5%以内	3.5%以内

☆保証料率について

無担保保険、普通保険を利用の場合は中小企業リスク情報データベースに基づき9段階(0.47%～2.09%)の料率を適用します。但し、直近決算の貸借対照表がない場合は1.28%となります。(最大0.25%の割引適用有り)

特別小口保険、経営安定関連特例保険利用の場合は、一律に年率0.85%を適用します。

※詳しくは青森県信用保証協会むつ支所(TEL22-1204)、または役場産業振興課(TEL37-2111)へお問い合わせください。

裁判員制度 ～映画やパンフレットでご案内します～

国民の皆さんに刑事裁判に参加していただく「裁判員制度」が平成21年5月までに始まります。裁判所では、裁判員制度に関心を持ち、理解していただくために映画やパンフレットなど様々な方法で情報を提供しています。

◎裁判員制度広報用映画「評議」

裁判員制度の評議の様を描いた約62分の映画です。

裁判員裁判で重要な評議のシーンを中心とするドラマです。

◎裁判員制度広報用映画「裁判員～選ばれ、そして見えてきたもの～」

裁判員制度の選任手続きを中心に描いた約69分の映画です。

どのようにして皆さんが裁判員に選ばれるのかについて、現段階におけるイメージをできる限りお伝えする内容になっています。

◎アニメ「ぼくらの裁判員物語」

中・高校生向けの約22分のアニメです。

高校生を主人公にして、アニメーションでわかりやすく解説しています。

◎パンフレット「よくわかる！裁判員制度Q&A」

裁判員制度をイラスト入りで分かりやすく解説したパンフレットです。

「評議」「裁判員～選ばれ、そして見えてきたもの～」「ぼくらの裁判員物語」のDVDまたはVHSの貸出しを希望される方は、最寄りの地方裁判所の総務課にお問い合わせください。また、裁判員制度ウェブサイト (<http://www.saibanin.courts.go.jp/>) でも動画配信をしています。「よくわかる！裁判員制度Q & A」の配布を希望される方は、最寄りの地方裁判所の総務課にお問い合わせください。また、裁判員制度ウェブサイトにもPDFファイルを掲載しています。

♨ 大間温泉 ♨

●海峡保養センター

【営業時間】

午前9時～午後9時

●養老センター

【営業時間】

午前8時～午後9時

【今月の休館日】

3日・10日・17日・24日・31日

○便利でお得な、割引回数券のご利用をおすすめします。

○保養センター玄関前への駐車はご遠慮ください。

「あおりUJIターンフェア開催」 のお知らせ

県では、故郷にUターンしたい方、祖父母の出身地にUターンをしたい方など、県内企業に就職を希望する方と県内企業の面接相談会「あおりUJIターンフェア」を下記のとおり開催します。

事前の申し込みは不要です。ご自由にご参加ください。

記

開催日時：8月12日（日） 午後1時～5時まで

開催場所：青森市 ラ・プラス青い森

2階 「メイプルの間」

詳しくは、青森県商工労働部労政・能力開発課（TEL017-734-9398）までお問い合わせください。

役場企画調整課 電話37-2111

「わが家のめんこ」を募集中心にご家庭のお子さんを広報に載せてみませんか。掲載を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。



「わが家のめんこ」を募集中心

平成19年度 夏の交通安全県民運動について

この季節は、夏休みのレジャーや祭りなどで、屋外での活動や車の利用が多くなることに加え、暑さによる気のゆるみや暴走運転による交通事故の発生が懸念されます。

そこで、この運動では、県民一人一人が交通安全に対する意識を高めることにより交通ルールを遵守して、交通事故防止の徹底を図るとともに、正しい交通マナーを身につけ、安全で快適な交通環境づくりを目指すものです。

重点項目

- 1 子どもと高齢者の交通事故防止
- 2 自転車の安全利用の推進
- 3 飲酒・暴走運転の根絶

期 間

平成19年7月21日（土）～7月31日（火）まで 11日間

わたしたちの町

平成19年5月末現在()前月比



	人 口	男	女	世帯数
総数	6,389(-3)	3,217(-3)	3,172(±0)	2,479(+3)
大間	4,850(-3)	2,440(-4)	2,410(+1)	1,942(±0)
奥戸	1,328(+3)	673(+3)	655(±0)	464(+2)
材木	211(-3)	104(-2)	107(-1)	73(+1)

「戸籍の窓」には大間町に住民登録をしている人の出生、死亡、結婚について記載しますが、個人のプライバシーを尊重する意味で載せてほしくない人は届出の際に係に申し出てくださることをお願いいたします。



お誕生 おめでとう



伊藤 航生(直樹)

ご結婚 おめでとう



(松山 幸太(千葉市) (泉 友樹(大間町)
(熊谷 桃子(大間町) (坂本 恵子(風間浦村)
(小林 光(大間町)
(室谷真理子(大間町)

編集室

6月から7月にかけて大間町は運動会のシーズン。子ども頃は、いつもどおりだったので、てるてる坊主を逆さにつるすぐらい運動会が嫌でした。しかし、いざ運動会が始まってしまつと、「嫌だ」という気持ちより、「みんなと一生懸命に競技や応援に取り組む、「楽しい」気持ちになります。毎年、運動会の楽しさを味わっていたのに、どうして運動会が近づくにあんなに嫌がっていたのか、今となっては不思議に思っています。(イチ)

広報 **おおま** 第471号

発行日：2007年7月2日

発行：大間町 編集：企画調整課

〒039-4601 青森県下北郡大間町大字大間字大間104番地

☎(0175)37-2111 HPアドレス <http://www.net.pref.aomori.jp/ooma/>

印刷所：協同印刷工業株式会社

おくやみ 申し上げます



伊藤 とよ 87才 紀国 綾子 50才
菊池 榮五郎 82才 清水 茂孝 76才
佐々木 重美 54才 加藤 たけみ 85才
菊池 まつ 80才 山崎 千里 96才
高橋 徳美 82才 古川 きみ 80才